

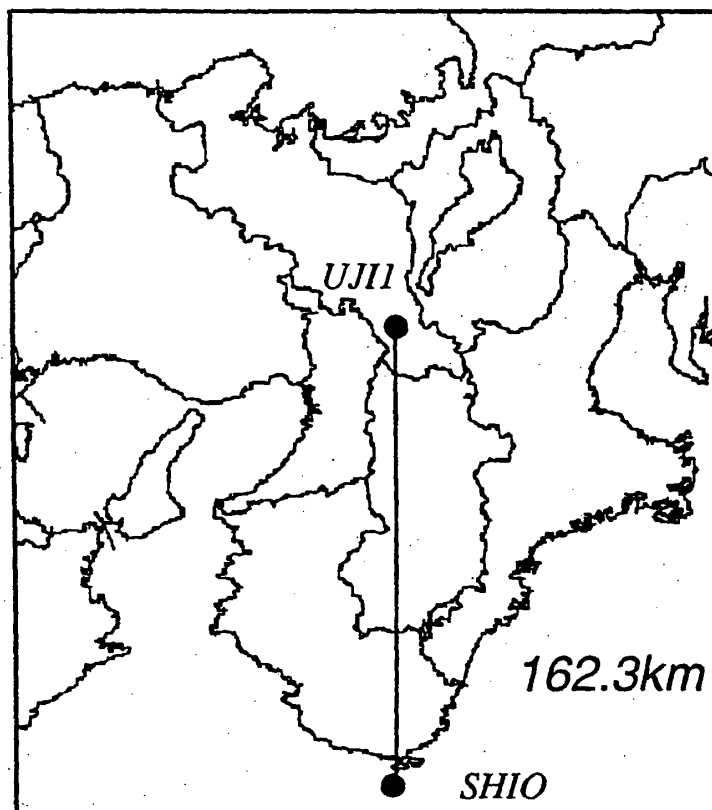
6-20 GPS観測 宇治-潮岬基線 (1991~1993)

GPS Observation of Uji-Shionomisaki Baseline (1991-1993)

京都大学防災研究所

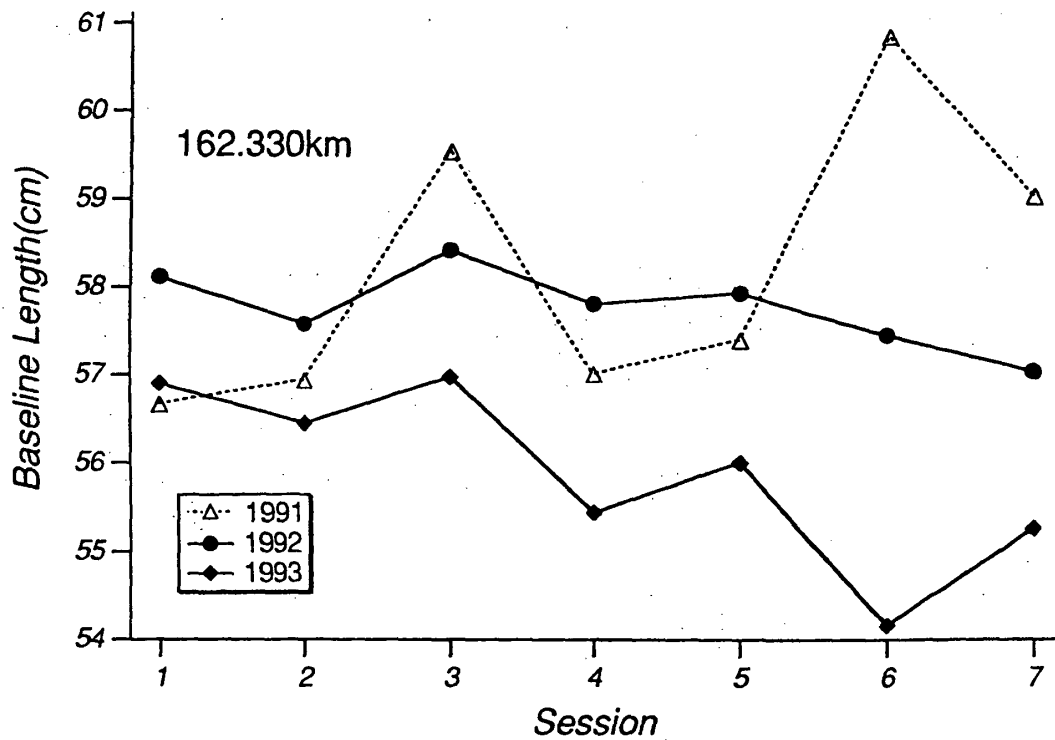
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

京都大学防災研究所では、2周波GPS受信機MINI-MAC2816を用いて、宇治-潮岬基線（基線長162km）でGPS連日観測（30秒サンプリングで、1セッション3時間12分）を行っている。これまで受信機に付属のGPSソフトウェアAIMS10により解析を行ってきたが、現在、Bernese GPSソフトウェアを用いて再解析を行っている。ここでは、比較的大気中水蒸気の影響の少ない1-2月の7セッションを選び、1991年から1993年での基線長および宇治を固定したときの潮岬の座標の南北成分の変化を報告する。東西および上下成分については各セッション毎のばらつきが大きいため、ここでは除いてある。1991年は基線長および南北成分のばらつきが大きいため除いて考えると、1992年から1993年の1年で基線長が、1.9cmほど縮んでいることが分かる（基線長1992年：162,330,57.77±0.42cm, 1993年：162,330,55.88±0.93cm）。



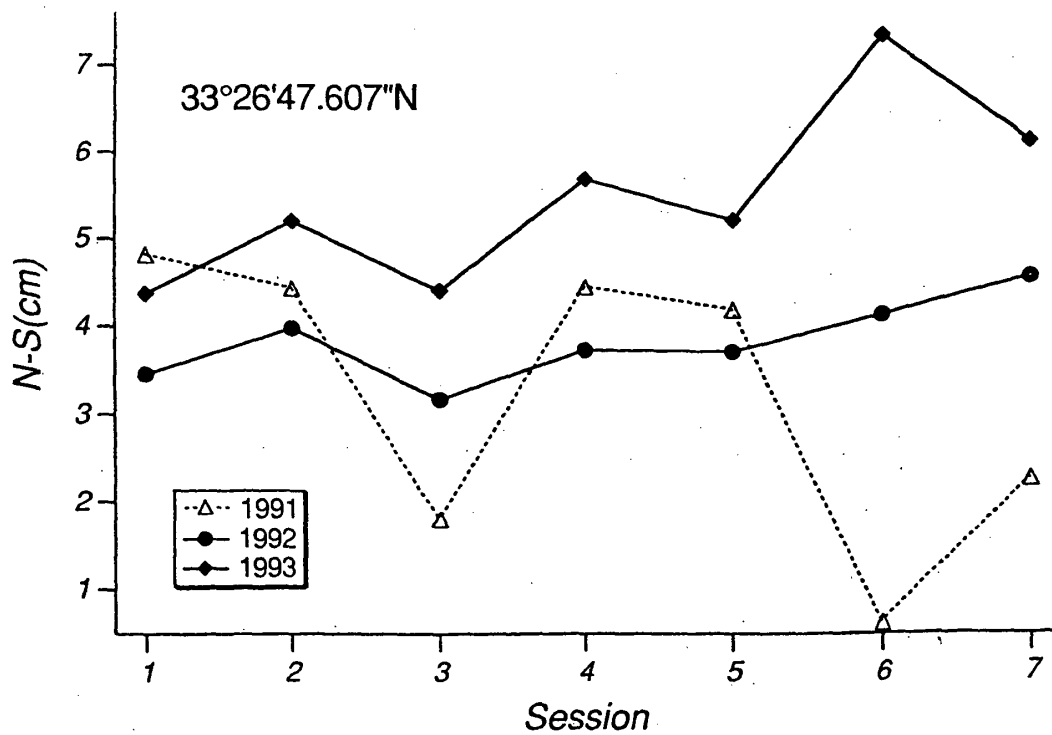
第1図 位置図：宇治-潮岬基線

Fig.1 Location map: Uji-Shionomisaki baseline.



第2図 1991～1993年の基線長変化 (主に1～2月)

Fig.2 Change of line length on Uji-Shionomisaki baseline during 1991 and 1993 (values are taken from the data in January and February).



第3図 宇治を固定したときの潮岬の座標の南北成分の変化
(プラスは潮岬の北進を表す)

Fig.3 Change of N-S component in the Shionomisaki coordinate when fixing the Uji coordinate (plus means the Shionomisaki moves northwards).